



第 69 回 特別基金講演会
「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える
最新技術と動向（その 3）」

主 催： 日本マリンエンジニアリング学会
協 賛： 計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，
(予定) 日本ガスタービン学会，日本機械学会，日本航海学会，日本材料学会，日本船舶海洋工学会，
日本トライブロギー学会，日本内燃機関連合会，陸用内燃機関協会

地球温暖化の進行を止めるため，脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みが行われています。マリンエンジニアリング業界においても，機器の高効率化，カーボンニュートラルやクリーンエネルギーへの転換，安全面の向上等に対応するため，多くの技術開発が行われています。これらの背景から，マリンエンジニアリング学会においても特別基金講演会として，2020年6月に「GHG問題に対する燃料からのチャレンジ」，2022年3月に「カーボンニュートラル及びGHG削減に向けた船用業界の取り組み」，2023年と2024年には「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える最新技術と動向（その1，その2）」と題して，様々な情報発信を行って来ました。本年度も引き続き「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える最新技術と動向（その3）」と題して，船用機関の開発に関する最新情報，運用および運用技術として欠かせなくなっているサイバーセキュリティおよびレジリエンス，遠隔監視システムの最新状況，次世代機関の開発状況，およびそれらの開発を支える技術にクローズアップし，貴重な情報を含んだ6件の講演を頂きます。本年度も現地対面による聴講とともにリアルタイムのオンライン聴講も可能となっております。奮ってご参加下さい。

- 【開催日時】** 令和7年3月14日（金）10:30～16:15
【開催場所】 大田区産業プラザPIO（東京都大田区南蒲田1-20-20，TEL：03-3733-6144）
[京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分]
【開催方法】 ハイブリッド方式（会場での講演 & Live 配信）
【申込方法】 申込締切日 令和7年2月28日（金）参加者は，必ず事前登録してください。
JIME ホームページ(<https://www.jime.jp>)から[イベント申込み]→[第69回特別基金講演会「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える最新技術と動向（その3）」]→[参加登録]→[このイベントに参加をしたい場合は，ログインまたは新規会員登録を行ってください]→[ログイン(ID，パスワードを入力)]をクリックし，
(1) 会員登録済の方は[ログイン(ID，パスワードを入力)]をクリックし，お申し込みください。
(2) ID，パスワードをお持ちでない方は，最初にイベント会員としてID，パスワードを登録してから，上記(1)の手順でお申し込みください。
【参加登録料】 正会員・協賛学協会会員 8,000 円，名誉会員・永年会員・シニア会員 6,000 円，学生会員 1,000 円，維持会員所属の非会員 8,000 円，非会員 16,000 円（消費税含む）
学会の振込口座に振込願います。（予稿集1冊を含む。但し，学生会員には予稿集なし）
【CPDポイント】 会員の方は，会員カードをご持参ください。学習ポイント：10ポイント

プログラム

10:30-10:35	開会挨拶	企画委員会 委員長 石崎 昌幸（阪神内燃機工業）
10:35-11:30	船舶用 Dual Fuel（二元燃料）エンジンの世界の開発動向	九州大学名誉教授 高崎 講二 氏
11:30-12:05	アンモニア焚きエンジンと重油焚きエンジンの違い（変化点）（仮）	三井E&S 糸山 剛士 氏
12:05-13:20	昼休憩	
13:20-14:00	新燃料対応等に関連するエンジン開発現場における計測システム・ソリューションの紹介（仮）	堀場製作所 森 雄一 氏
14:00-14:40	スウェーデンロックから見た，アンモニア・水素マーケットについて	スウェーデンロック・ ジャパン 庄司 知弥 氏
14:40-15:00	休憩	
15:00-15:40	船舶のサイバーレジリエンス要件のご紹介（仮）	日本海事協会 小久保 信佑 氏
15:40-16:10	内航船の主機関遠隔監視について	阪神内燃機工業 神野 遼太 氏
16:10-16:15	閉会挨拶	企画委員会 副委員長 佐々木 秀次（東京海洋大学）

注）本プログラムは予告無しに変更になることがあります。